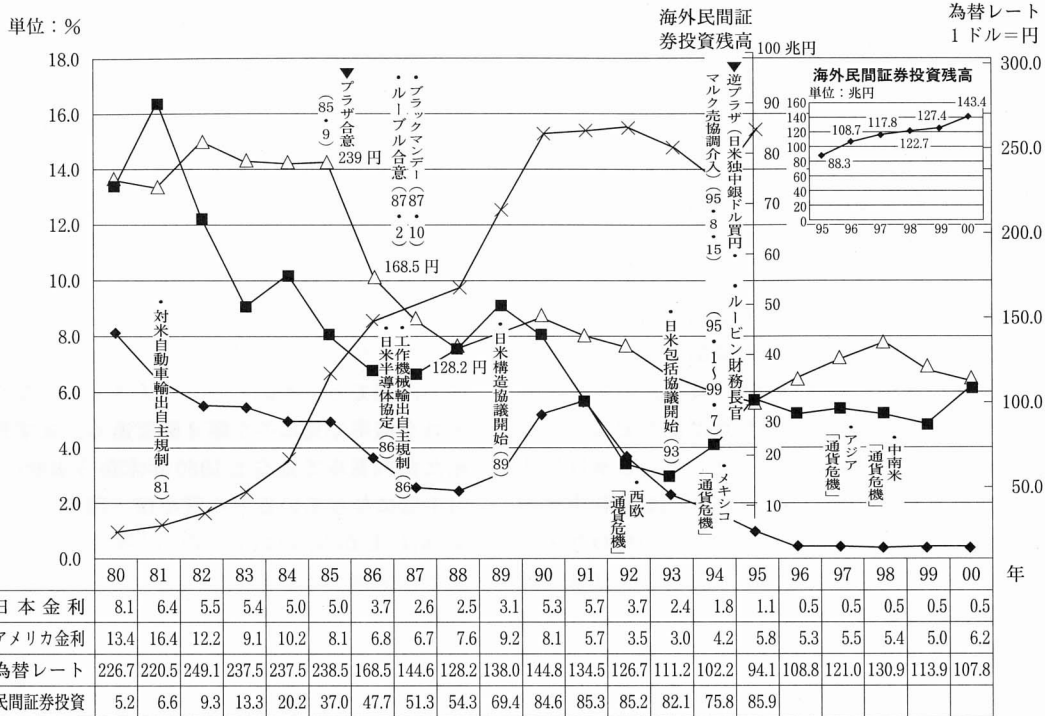


第3図 日米金利差・為替レート・民間海外証券投資



資料出所：『東洋経済・経済統計年鑑 2002 (CD-ROM 版)』取材・編集：(株)東洋経済新報社／(株)アイ・エヌ情報センター。原資料は日本銀行「国際収支統計月報」。

- 注 記：(1) アメリカの金利はフェデラル・ファンド（実効金利）Federal Funds Rateで、アメリカで連邦準備銀行が預かりうけている銀行など預金金融機関の預金金利。金融機関は、所要準備ないし必要準備を連銀へ預け入れる義務があり、準備の過不足はインターバンク市場での貸借で埋め合わされる。日本のコール資金に匹敵する。日本の金利は商業手形割引歩合ならびに貸付利率歩合。期中平均。
- (2) 為替レートは、月中平均、銀行間・直物・中心相場。
- (3) 民間証券投資は残高で単位は兆円。1995年以前と以降ではデータの集計方法が違っているために、連続性はない。1995年の新方式による残高は88.3兆円で、旧方式との差は約2.4兆円ほどある。図中右上に別図で掲示した。